

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【公表番号】特表2000-502566(P2000-502566A)

【公表日】平成12年3月7日(2000.3.7)

【出願番号】特願平9-524278

【国際特許分類第7版】

A 0 1 K 11/00

A 0 1 K 29/00

A 6 1 B 5/00

【F I】

A 0 1 K 11/00 Z

A 0 1 K 29/00

A 6 1 B 5/00 1 0 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月26日(2003.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成15年12月26日

特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

平成9年特許願第524278号

## 2. 補正をする者

名称（氏名） デラヴァール ホルディング アクチボラゲット

## 3. 代理 人

住所 東京都港区赤坂1丁目9番20号

第16興和ビル8階

氏名 弁理士 (12378) 宮崎 昭夫

電話 03-3585-1882



## 4. 補正対象書類名

請求の範囲および図面

方 略



## 5. 補正対象項目名

請求の範囲および図2

## 6. 補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙のとおり補正する。
- (2) 図2を別紙のとおり補正する。



## 請求の範囲

1. 家畜動物の第1の正常な状態および第2の特殊な状態を含む種々の動作状態用のセンサ手段と、該センサ手段に接続されている送信器とが装着されている家畜動物の動作度の記録をとる方法において、

前記センサ手段によって、第1の予め定められた長さの第1の時間間隔を有する周期的に繰り返される時間ごとに、前記動物が、直前の時間間隔の間に、前記第2の特殊な状態になっているかどうかを判断し、かつ前記動物が前記第2の特殊な状態になっていると判断した場合に、前記第1の時間間隔の回数をカウントするステップと、

前記第1の時間間隔よりも少ない頻度で発生し、かつ前記第1の予め定められた長さよりも長い第2の予め定められた長さの第2の時間間隔を有する周期的に繰り返される時間ごとに、前記第2の特殊な状態が少なくとも1回の以前の送信の後に何度発生したかに対応する前記第1の時間間隔のカウント数を含んでいる情報を、前記送信器から評価ステーションに送信するステップとを有していることを特徴とする、家畜動物の動作度の記録をとる方法。

2. 前記周期的に繰り返される時間ごとに前記情報が前記評価ステーションに送信されるときに、前記情報はまた、複数の以前の第2の時間間隔の間に前記第2の特殊な状態が何度発生していたかに対応する前記第1の時間間隔のカウント数を含んでいる、請求項1に記載の方法。

3. 前記周期的に繰り返される時間ごとに前記情報が前記評価ステーションに送信されるときに、前記情報はまた、前記送信器と、前記センサ手段と、前記センサ手段および前記送信器を装着している前記動物とを識別する識別情報を含んでいる、請求項1または2に記載の方法。

4. 前記動物に装着され、家畜動物の、第1の正常な状態と第2の特殊な状態とを少なくとも含む種々の動作状態を検知するセンサ手段と、

前記センサ手段に作動するように接続されている、評価ステーションに情報を送信する送信手段とを有する、家畜動物の動作度の記録をとる装置において、

第1の予め定められたレートの、第1の予め定められた長さの第1の時間間隔を有する第1のクロックパルスを生成するタイマー手段と、

少なくとも1回のカウント数を記憶するメモリ手段と、

前記センサ手段と前記タイマー手段とに接続されており、前記第1のクロックパルスを受信し、かつ、各々の前記第1のクロックパルスを受信するごとに、前記動物が、直前の時間間隔からの前記第1の時間間隔の間に第1のクロックパルスが受信されたときに第2の特殊な状態になっているかどうかを判断し、また、前記第2の特殊な状態が発生している場合にそのような第1の時間間隔の回数を記憶する前記メモリ手段に接続されている判断手段と、

前記メモリ手段と、前記タイマー手段と、前記第1の時間間隔よりも少ない頻度で発生し、かつ前記第1の予め定められた長さよりも長い第2の予め定められた長さの時間間隔を有する周期的に繰り返される時間ごとに、前記メモリ手段に記憶されている前記カウント数を含む情報を前記評価ステーションに送信する送信手段とに接続されている制御手段とを有していることを特徴とする、家畜動物の動作度の記録をとる装置。

5. 前記メモリ手段は複数の前記カウント数を記憶するように構成されており、前記判断手段は前記第2の予め定められた長さの少なくとも2つの連続する第2の時間間隔の間の前記カウント数を記憶するように構成されており、

前記制御手段は、周期的に繰り返される第2の時間間隔ごとに前記情報が前記評価ステーションに送信されるときに、前記第2の長さを有する複数の以前の第2の時間間隔の間の前記カウント数を含む前記情報を送信するように構成されている、請求項4記載の装置。

6. 前記メモリ手段は識別シーケンスを記憶するように構成されており、

前記制御手段は、周期的に繰り返される第2の時間間隔ごとに送信器を識別し、これによって前記センサ手段および前記動物を識別するために、記憶された前

記識別シーケンスから得られる識別情報を前記評価ステーションに送信するよう  
に構成されている、請求項 4 または 5 に記載の装置。

FIG. 2

センサ出力

